模擬授業について

要　項

・模擬授業は5分間です。入室後、準備が完了したら面接官が開始の合図をし、5分経過した時点で終了の合図をします。

・教科（科目）ごとのテーマに即して、事前に準備した上で行って下さい。

・模擬授業は必ずしも「導入」部分から行う必要はありません。途中の「展開」部分や「まとめ」部分から始めて頂いても構いません。

　＊時間内に授業をまとめる必要はありません。授業内容の途中で終了しても構いません。

　＊テーマと直接関係のない「導入」は不要です。

・試験会場にはホワイトボード、マーカー（黒・赤・青　各1本)、マグネット（12個）があります。

・音楽についてはピアノ等の楽器のご用意はありません。

・短時間の試験のため、板書に時間を要するものについては、予め用紙に書いたものを準備してホワイトボードに掲示し、板書したものとして授業をして下さい。（サイズ自由）

・板書した場合は、退室前に消してください。

・面接官にプリント等の資料を配布することはできません。

・模擬授業を行うためのメモ（A4サイズ1枚）を持ち込んでも構いません。（提出不要）

・パソコンやプロジェクターの使用はできません。

設　定

・中堅私立大学進学志望の高校生に対し、テーマ初回の授業を行う想定とします。

・面接官を生徒と仮定して授業を行って頂きますが、面接官は生徒役（起立や回答等）はしません。

評価点

・生徒への配慮と熱意が感じられるか。

・生徒が関心と学習意欲を持つことが出来るよう工夫された授業であるか。